

2 庄川水記念公園再整備の方策 ～目標達成に向けた具体的手段・方法～

① 庄川の豊かな水と美しい景観を世界につなげる公園

(ア) 庄川の豊かな水の活用

水と親しむ空間や庄川の流れを眺望できる休憩施設、散策路を整備するなど、水を生かした整備を行い、豊かさを実感する場とする。

(イ) 山々の自然景観の活用

庄川対岸の山々を眺望できるビューポイントを整備するなど、周辺の自然景観を生かした整備を行い、自然を感じられる場とする。

② 庄川とともに暮らし育んだ歴史・文化を未来につなげる公園

(ア) 庄川水資料館の役割の継承

庄川の水とともに暮らしてきた歴史を市民をはじめ、市外から訪れる方が学べる場とする。

(イ) 松村外次郎記念庄川美術館の役割の継承

松村外次郎氏が制作した美術作品を後世へつなげられるよう、鑑賞できる場を設ける。

(ウ) 伝統工芸品や特産品の継承

庄川挽物木地等の特産品を使った直売所や飲食店など、庄川らしさを継承する拠点とするほか、市外へ紹介していく場とする。

③ 幅広い世代が思い思いに楽しめる時代をつなげる公園

(ア) 遊びを学びあえる公園

遊具、水遊び場、芝生広場など、幅広い世代が楽しく遊ぶことのできる施設とする。

(イ) にぎわいを楽しめる公園

魅力的な飲食の出店やにぎわいのあるイベントができるスペース、グループ等で様々なレクリエーションを楽しめる施設などを整備し、幅広い世代が集まる空間とする。

(ウ) 健康づくりとなる公園

ウォーキングコースや健康遊具の設置など、アクティブに健康増進に寄与する施設とする。

また、四季折々の花や緑、自然の移り変わりをゆったりと感じられる空間とする。

(エ) 世代間がつながる公園

イベント、軽スポーツなどを通して世代間の交流を深められる空間とする。

④ 観光・交流の拠点としてにぎわい、市民と来訪者のくらしをつなげる公園**(ア) にぎわいの創出につながる施設**

飲食・物販機能の充実により集客力を高め、年間を通してにぎわう空間とする。

(イ) 市外から多くの方が訪れる空間

花の名所、庄川の眺望点、水のライトアップなど、市外からも多くの人が訪れたいくなる魅力的な空間とする。

(ウ) 特徴を生かした空間

人々が触れ合える遊び場や川でのアクティビティなど、庄川の特徴を生かした空間とする。

⑤ 公園全体の一体感を生み出し、周辺施設との空間をつなげる公園**(ア) ユニバーサルデザインの公園**

園路や施設のバリアフリー化など、ユニバーサルデザインにより、誰もが利用しやすくする。

(イ) 連続性や物語性のある公園

樹木の間伐や動線の整理を行い、公園全体の一体感を生み出す。

(ウ) 周辺施設との連携

地域全体が活性化するよう、周辺の公共施設や民間施設との連携や統一感を創出する。